

Summary of proposed JCM project
(Title of the project) 英文事業名

Date of Submission: ___/___/___
 Partner country: 正式名称

EXECUTIVE SUMMARY

本プロジェクトのエッセンス（導入技術、GHG 排出削減の仕組み、パートナー国にもたらされる効果、JCM 設備補助事業活用の必要性など）を簡潔にまとめる。

1. Basic project information

(1) Description of the technology, service/commodity, offtakers

プロジェクト実施概要、各プロジェクト参加者の役割、適用する技術に関する説明等を記入。プロジェクトの実施体制や GHG 排出削減の仕組みを示す図表は 6. Additional Information of Project に貼付。

(2) Location/Area/Sites of the Project:

プロジェクト実施場所を記入（可能であれば coordinates 含む）

(3) Project participant for the project and its roles in the project

Name of the entity	代表事業者名 (会社名)	共同事業者名 (会社名)		
Address	所在地	所在地		
Business Description	事業内容	事業内容		
Role in this PJ	本プロジェクトでの役割	本プロジェクトでの役割		

2. Mitigation Outcome

2.1. Crediting period 10 年又は法定耐用年数のいずれか短い期間を記入	years
2.2. Expected GHG mitigation outcome against Business-as-usual (BaU) emissions BaU 排出量は成り行き排出量を指し、本プロジェクトを実施しなかった場合に想定される GHG 排出量を指す。この欄は BaU 排出量とプロジェクト排出量の差を記入	tCO2eq/year
2.3. Expected GHG mitigation outcome (JCM credits) against reference emissions レファレンス排出量は、パートナー国がクレジットを移転して相当調整してもパートナー国の最新 NDC の達成に貢献できるように、前述の BaU 排出量を十分に下回るレベルで保守的に設定する。この欄はレファレンス排出量とプロジェクト排出量の差を記入	tCO2eq/year

3. Financial Structure

Expected Investment Cost 本プロジェクトにおける補助対象経費を記入	JPY
--	-----

4. Reasons and rationale of implementing the project under the JCM

本プロジェクトを実施するにあたり、通常の商業ベースの案件ではなく、JCM 設備補助事業を活用する理由（補助金の必要性等）を明示。パートナー国側は JCM クレジットを日本側に移転した分について相当調整することが必要となるにもかかわらず、本事業を JCM 設備補助事業として実施することでどのような便益がパートナー国にもたらされるのかを説明。

5. Communication with governments of partner country

Name of the relevant ministry or governmental agency

本事業に関するパートナー国の関係省庁機関情報を記入

Name and position of the main contact person in the entity: 関係省庁機関の窓口担当者を記入

Name:

Position:

E-mail:

Is the project information already shared with the entity? Yes No

本プロジェクトについて情報共有済みか否かをチェック

6. Additional Information of Project, if any

Diagrams and/or illustration, such as roles of each project participant, etc

本プロジェクトの実施体制（事業関係者の役割等）や GHG 排出削減の仕組みを示す図表を貼付する